

平成25年度

# 環境活動レポート



対象期間 : 平成26年1月～平成26年3月

発行年月日 : 平成26年 4月 21日

株式会社 理水興業

・表紙	1
・もくじ	2
1 挨拶	3
2 環境方針	3
3 事業概要&認証登録範囲	4
4 実施体制	5
5 環境目標	6
6 環境活動計画	7
7 環境目標の実績	8
8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	9
9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	10
10 代表者による全体評価と見直し結果	10
11 情報公開事項	11～13

## 1 挨拶

当社の理水興業という社名から、生活環境の原点である水資源を大切に  
する事に重点を置き、汚染された水をもう一度環境に適した資源になる  
べく、あらゆる環境保全に取り組みます。  
また、社会貢献への取り組みと共に東北大震災への復興にも積極的に参  
加し、地域住民の一員として環境対策に惜しみなく力を注ぐ企業を目指  
していきたいと考えております。

代表取締役社長  
今野 秀實

## 2 環境方針

### 《環境理念》

株式会社理水興業は『永遠に美しい地球』をテーマに企業の存立基盤  
を確保しつつ、地域社会の一員として環境対策に積極的に取り組み、次  
世代へ、より美しい自然環境を引き継ぐために努力し身近な環境の保全  
を基軸に地域社会に貢献し、共に繁栄する企業を目指します。

### 《環境保全への行動指針》

- 1 当社が行う事業活動の環境に与える影響を正確に捉え、環境へ  
の負荷を低減し環境の保全活動に努めます。
  - (1) 二酸化炭素排出の削減
  - (2) ゴミの分別・削減
  - (3) 生活排水の軽減・節水
- 2 車輛運行ルート効率化とエコドライブを実践し省エネと排ガス抑制、  
廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率を向上させます。
- 3 環境に関する知識の向上を図り普及・啓蒙と環境保全の高揚に努め、グ  
リーン購入を推進します。
- 4 現場における再資源化を考慮し、計画・設計時から廃棄物の削減をし効  
率的な施工方法で省資源・省エネルギーを推進します。
- 5 地域・社会貢献活動の推進に努めます。
- 6 事業活動に関連する法規制を遵守します。
- 7 全社員及び協力会社従業員にこの環境方針を周知徹底し、理解と意識の  
向上に努め、地域に密着した企業活動を行い活動結果を公表します。

制定日：平成26年1月4日

株式会社 理水興業  
代表取締役社長  
今野 秀實

### 3 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 理水興業  
代表取締役社長 今野 秀實

2 所在地

本社 岩手県花巻市星ヶ丘2丁目16番12号  
水環事業部 岩手県花巻市中北万万丁目97番地  
汚泥リサイクルセンター 岩手県北上市口内町松越134番地1  
ペットサロン事業部 岩手県花巻市星ヶ丘2丁目17-16

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 環境事業部 部長 高橋 満 TEL: 0198-23-5395  
担当者 営業推進課長補佐 主濱 睦 TEL: 0198-23-5395

4 事業活動の内容

1. メンテナンス部門

汚水処理施設(浄化槽含)の維持管理、清掃  
許可番号 浄化槽保守点検業 岩手県24(登)中第5号 H25・1・7~H28・1・6  
盛岡市 24-12 H25・1・7~H28・1・6  
浄化槽清掃業 花巻市第337-2号 H26・4・1~H28・3・31

2. 環境事業部門

(1) 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物含)の収集・運搬(積替保管含む)、  
中間処理(汚泥)・処理  
(2) 一般廃棄物収集運搬業  
(3) 貯水槽・油タンク等の清掃・管理、各種配管の洗浄・更生  
許可番号 別途記載(P11参照)

3. 工事部門

(1) 管工事 給排水・衛生・空調・消防設備・浄化槽等の設計・施工  
(2) 土木工事 水道本管・舗装・下水関連等  
(3) その他の工事 電気工事等  
許可番号 特定建設業  
岩手県知事(特-24)第4479号 H24・8・27~H29・8・26  
一般建設業  
岩手県知事(特-24)第4479号 H24・8・27~H29・8・26  
排水設備工事指定 花巻市 H25・4・1~H30・3・31  
大船渡市 H25・4・1~H30・3・31  
紫波町 H25・4・1~H30・3・31  
北上市 H25・4・1~H30・3・31

4. ペットサロン部門

・動物の小売り及び卸売り並びにそれらを目的とした繁殖または輸出入を行う業務  
(その取り次ぎまたは代理を含む)  
・保管を目的に顧客の動物を預かる業務

5 主要売上 平成24年度  
1.2億

項目	本社	水環事業部	リサイクルセンター	ペットサロン事業部
従業員	58	5	2	2
延べ床面積	646.82	131.36	41.62	81.01

6 認証登録範囲

全組織・全事業活動が認証登録範囲

7 営業範囲

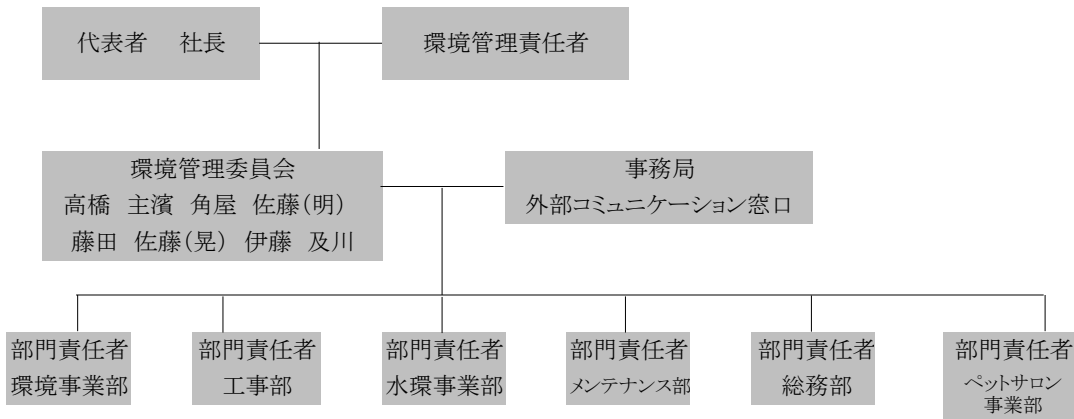
県内一円

8 社歴

昭和35年4月 浄化槽の管理(メンテナンス)・清掃を目的として創業  
昭和47年9月 浄化槽の管理・清掃の主要業務として、有限会社ロクサン衛生社を設立。  
昭和48年3月 有限会社花巻浄化槽センターへ商号変更  
昭和53年8月 貯水槽清掃・産業廃棄物の収集運搬・処理、管工事等を追加  
昭和56年11月 有限会社理水興業へ商号変更  
昭和62年9月 産業廃棄物収集運搬業許可(岩手県)取得、業務開始  
平成5年7月 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可(岩手県)取得、業務開始  
平成6年10月 株式会社理水興業へ組織変更  
平成8年4月 産業廃棄物処理業許可(岩手県)取得、  
移動脱水車による汚泥の中間処理業務開始  
平成11年3月 特定建設業許可取得(特-10)4479号管工事業  
平成22年3月 北上市口内町松越に汚泥リサイクルセンター  
(汚泥中間処理施設)竣工・操業開始

## 4 実施体制

### 1 組織



### 2 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任。
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
	・環境管理責任者を任命。
	・報告を受け全体の評価と見直しを行う。
環境管理責任者	・代表者に代わり、環境経営システムの構築、実施、管理を行う。
	・環境活動実績の確認、評価。
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告。
	・環境活動レポートを確認。
環境管理委員会	・委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。
	・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を部門責任者は各部門で実施する。
	・環境活動レポートの作成、公開。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐。
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者	・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。
	・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。
	・従業員に対する教育訓練の実施。
全社員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

## 5 環境目標

### 1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (基準年)
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	594,093	668,784	676,988	661,124
購入電力使用量	kwh	61,735	61,273	57,719	62,401
受託産業廃棄物 (収集運搬)	t/年	6,541	6,210	12,488	7,160
受託産業廃棄物 (中間処理)	m <sup>3</sup> /年		2,497	5,172	4,670
産業廃棄物排出量	t/年	629	107	734	799
一般廃棄物排出量	t/年	18,650 (10ヶ月分)	13,970 (11ヶ月分)	28,040	37,110
総排水量(水資源投入量)	m <sup>3</sup> /年	1,393	2,225	2,398	2,308

※購入電力の二酸化炭素排はH24(東北電力)の実排出係数 0.6kg-CO<sub>2</sub>/kwhを使用。

### 2 環境目標の設定

当社では、平成24年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(平成24年度)比の削減(増加)率(%)

項目	基準年度実績値		中期目標(内単年度目標)			
	実績値	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
二酸化炭素排出量	661,124	kg-CO <sub>2</sub>	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
購入電力使用量	62,401	kwh	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
産業廃棄物排出量	798.84	t	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
一般廃棄物排出量	37110	kg	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
総排水量 (水資源投入量)	2,308	m <sup>3</sup>	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減
グリーン購入	グリーン製品を積極的に購入する。					
環境配慮製品の販売	環境にやさしい設備機器を積極的に採用する。					
社員教育	2回		2回	3回	3回	3回
その他(地域貢献)	2回		2回	2回	3回	3回

## 6 環境活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取り組んでおります。

取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	評価	備考	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する	○	
		②会議室、給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不必要な時は、消灯している。	○	
		③事務室の部分照明を実行する。	○	
		④照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。	×	一年に一度しか行っていない
	冷暖房	①冷暖房の温度（冷房28℃、暖房20℃）を順守する。	△	全社員への徹底を呼びかける
		②空調が必要な区域・時間帯に限定する。	○	
		③使用していない部屋は、空調を停止している	○	
		④ドアの開け放しはしない。	×	呼びかけているものの、社全体に行き届いていない
	節電	①昼休みなど、休憩時、不必要な個所は消灯する。パソコンの電源は切る。	○	
		②残業の時は、必要な個所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯する。	○	
		③退社時は、OA機器の待機電源は切る。	○	
		④パソコン等のOA機器や照明器具などの省エネルギー型への切り替えに取り組んでいる。	△	今後の切り替えを早める
	車輛その他	①車両のアイドリングストップを実践する。	△	現場にてエンジンをかけたままにするケースが多い
		②急発進・急加速はしない。	○	
		③冷暖房の控えめ使用	△	現場作業員の意識を高める
		④タイヤの空気圧は、適正値を保つよう定期的に調整する。	△	日常的にこまめな点検を行う
		⑤建設機械等の運転を停止する際は、エンジンを停止する。	△	現場作業員の意識を高める
		⑥建設機械等をリースする際は省エネルギーの機種を優先的に選定・リースする	○	
		⑦最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。	○	
	廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	①書類の内容やレイアウトを見直し、枚数を少なくする	△
②同じ内容の資料や書類の写しは1冊にまとめ、複数人で利用する			△	会議資料の資源の削減を心がける
③帳簿見直しによる印刷物の削減			○	
④使用済コピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。			○	
⑤分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。			○	
⑥文書の共有により、不要な印刷物を削減する			△	裏紙を使用するように呼びかける
⑦紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。			○	
⑧コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。			○	
産業廃棄物		①産業廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行う。	○	
		②現場等で発生した廃棄物を分別し適正処理を行う。	○	
節水・排水	用水・排水	①節水の表示を行う。	○	
		②蛇口・排水管の水漏れがないか確認する。	○	
		③水道を流しながら使用しない。	△	洗い物の時に意識するようにする。
		④トイレ用水の節水に努める。	△	個々の意識を高める。
その他	施設・設備	①事務所、及び管理施設周辺の整理整頓に心がける。	△	現場管理庫の整理を呼びかける。
グリーン購入	①消耗品、事務用品はエコ商品を優先し購入する。	○		
	②省エネ基準適合商品を購入する。	△	今後購入するものに関しては積極的にエコ商品への切り替えをする	
社員教育	①環境関連セミナーに積極的に参加し意識を高める。	×	今後、開催されるセミナーへのチェックをこまめに行う。	
	②朝礼、夕礼の場において社員に周知し理解を高める。	○		
地域貢献	①地域のボランティア活動に積極的に参加する。	○		
	②現場周辺の清掃活動を行う。	△	清掃活動の回数を増やす	

○：評価できる △：まずまず評価できる ×：評価できない

## 7 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、エコアクション21を開始した平成26年1月から3月までの実績についての評価結果を報告いたします。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年		当該年度		環境目標の達成状況
		実績値 (H24年度)	削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
1、電力の二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	11,578	1%削減	11,462	11,087	○
2、LPGの二酸化炭素		17	1%削減	17	21	×
3、ガソリンの二酸化炭素		33,570	1%削減	33,234	29,749	○
4、灯油の二酸化炭素		14,129	1%削減	13,988	9,464	○
5、軽油の二酸化炭素		127,598	1%削減	12,632	105,411	○
6、二酸化炭素合計		186,891	1%削減	71,339	155,733	○
7、一般廃棄物	t	37110	1%削減	367,389	30,210	○
8、産業廃棄物	t	9903.81	1%削減	9,815	29,207	○
9、総排水量(節水)	m <sup>3</sup>	1276	1%削減	1,263	1,165	○
10、グリーン購入	グリーン製品を積極的に購入する。					△
11、環境配慮製品の販売	環境にやさしい設備機器を積極的に採用する。					○
12、社員教育	回	2回		4回	2回	△
13、その他(地域貢献)	回	2回		3回	2回	△

### 環境活動の状況



地域クリーン活動



献血活動



安全運転講習会

#### 東北大震災への復興活動

平成23年4月  
平成23年6月

平成23年5月～9月

・各加入団体・組合を通じて義援金、支援物資の支援

大槌町、(株)大安環境へ社員10名にて後片付けに参加  
ボランティア団体ゆいっこへ支援物資の仕分けに参加  
同団体へ、当社青年部より義援金の寄付  
大船渡市から盛岡市南浄化センターへし尿の運搬協力



## 8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

### 1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	達成度
二酸化炭素排出量の抑制	照明	照明機器の節電の意識が高まったが、随時LED照明への切り替えを検討している。	△
	冷暖房	社内設定温度にバラつきがあり、今後の徹底に努める。	×
	節電	節電への表示を徹底したことにより社内全体の意識が高まった。	△
	車輛その他	エコドライブへの意識は高まってはいるものの、エネルギーの削減につながっていないのが現状な為、今後も継続してエコドライブに努める。	△
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	各自、分別への徹底が定着してきてはいるものの、ゴミの排出量の削減にはつながっていないので、各部のゴミの排出量のデータを再確認し、排出抑制への意識を高める。	△
	産業廃棄物	トライアル期間においては排出がなかったが、今後も継続して取り組む。	○
	受託産業廃棄物	リサイクルルートの確保、最終処分量の減量化。	△
	建設副産物	現場内での分別の徹底をし、排出抑制をする。	○
節水・排水	用水・排水	日常的に節水を励行しているが、更なる取り組みが必要。	△
その他の取組	施設・設備	トライアル期間が冬期間だったことにより、施設周辺の点検ができなかった為、再度点検を行い、整理整頓を努める。	×
グリーン購入		積極的にエコ商品の購入に努める。	○
地域貢献		地域貢献活動は7月に計画	○

○：評価できる、△：まずまず評価できる、×：評価できない

### 2. 次年度の取組内容

#### (1) 二酸化炭素排出量の削減

特に現場でのアイドリングストップを各自が心がけ、今年度の取り組みを全社員が徹底して行う様に、各部門責任者が呼びかけをしていく。

#### (2) 廃棄物の排出削減

個々の意識を高め、ゴミの少量化を目指す。また、トライアルでの結果をひとりひとりが確認し、各部での目標を決め、取り組んでいく。

#### (3) 節水（排水対策）

今年度の取組内容を継続し周知徹底する。洗車水の適正使用の指導。

#### (4) グリーン購入

事務用品のグリーン商品への切り替えリストの作成

#### (5) 地域貢献に関する取組

地域貢献の活動回数を増やす

#### (6) その他の取組

社員教育に取り組む（セミナーへの参加）

## 9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題が有りませんでした。

### 10 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1 環境方針	始めたばかりのせい、まだ社全体に方針そのものが浸透されておらず、4割程度の社員にしか意識の改善が見られない。	各部の責任者が意識改革を促し、一人ひとりが自然な状態で取組ができるようにする。
2 環境目標	目標設定が明確にされておらず、ひとりひとりに意識が低い。少しのところから環境に貢献できるという意識を持てるようにする。	目標・及び実績を常に明確にし、社全体が意識の改善をしていくうえで、結果に結びついていく状況をつくる。
3 環境活動計画及び環境経営システム	取り組みに偏りがあり、全体的には大きな変化が見られなかった。	取り組み内容を全員が理解できたうえで、再度目標の設定・及び環境経営システムの見直しを各担当者と共に協議していく。
4 全体評価	まだまだ未熟な部分もあるので一丸となって努力をしていく。エコアクションの取り組みがどのように環境へつながるかを、環境責任者及び、各部責任者が率先し社全体を引っ張っていく。また、当社では緊急災害の指定会社でもあるので、環境汚染等の事態に最善を尽くしていきたい。	

1 1 廃棄物処理業に関する情報公開

事業所名	株式会社 理水興業						
代表者名	今野 秀實						
所在地	〒025-0065 岩手県花巻市星が丘二丁目16-12						
環境管理責任者	高橋 満						
エコアクション2.1担当者	主濱 睦						
連絡先	電話	0198-23-5395	ファクス	0198-24-7139			
	E-mail	co.risui@wonder.ocn.ne.jp					
	URL	http://www.risui-kogyo.co.jp/pc/index.html					
事業活動の内容	1. メンテナンス部門 汚水処理施設（浄化槽含）の維持管理、清掃 2. 環境事業部門 (1) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物含）の収集・運搬（積替保管含む）、中間処理（汚泥）・処理 (2) 一般廃棄物収集運搬業 (3) 貯水槽・油タンク等の清掃・管理、各種配管の洗浄・更生 3. 工事部門 (1) 管工事 給排水・衛生・空調・消防設備・浄化槽等の設計・施工 (2) 土木工事 水道本管・舗装・下水関連等 (3) その他の工事 電気工事等 4. ペットサロン部門 ・動物の小売り及び卸売り並びにそれらを目的とした繁殖または輸出入を行う業（その取り次ぎまたは代理を含む） ・保管を目的に顧客の動物を預かる業						
事業計画の概要	当社の関係事業を通じて、資源循環型社会構築を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。						
事業の範囲	岩手県内一円						
事業の規模	事業年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	売上高（千円）	1,053,170千円	1,223,759千円	1,257,134千円			
	産廃収集運搬量	6210.49 t	12488.39 t	7159.77 t			
	一廃収集運搬量	2057 t	2061 t	3855 t			
	処分量	2304.03t	2351.81t	1928.03t			
	従業員（名）	63名	63名	62名			
法人設立年月日	平成47年9月5日	資本金	40	百万円			
許可の内容	許可名/許可番号	年月日	事業区分、廃棄物の種類				
	基準適合産業廃棄物処理業者	許可		岩手県（収集運搬・中間処理）			
		有効	H25.6.29～H26.6.28				
	一般廃棄物処理業	許可		花巻市（第200-155）			
		有効	H26.4.1～H28.3.31				
	一般廃棄物処理業	許可		北上市（第388号積降し）			
		有効	H23.9.1～H26.12.15				
建築物飲料水貯水槽清掃業	許可		岩手県53二十三貯第2号				
	有効	H20.12.16～H29.8.31					
建築物排水清掃業	許可		岩手県53二十三排第1号				
	有効	H20.12.16～H29.12.15					
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数	
	汚泥リサイクルセンター	横軸遠心分離脱水機	1台	4t ユニック車	2,850kg	1台	
		処理能力：40m <sup>3</sup> /日			塵芥車	2,450kg	1台
		造粒固化施設	1台	1,750kg	塵芥車	1,750kg	1台
		処理能力：100t/日			塵芥車	2,500kg	1台
		排水処理施設	1台	冷蔵冷凍車	2,000kg	1台	
		バックホー 0.45m <sup>3</sup>	1台	バン	1,500kg	1台	
		ホイルローダー 1.2m <sup>3</sup>	1台	脱着装置付コンテナ専用車	3,850kg	1台	
	ホークリフト 1.5t	1台	脱着装置付コンテナ専用車	7,300kg	1台		
	積替施設面積&保管上限		面積	84.68m <sup>2</sup>	保管量	35.7m <sup>3</sup>	
	保有車輛一覧		脱着装置付コンテナ専用車		3,950kg	1台	
	マグナス汚泥吸引車	7,250kg	1台	7tトラック	7,700kg	1台	
	Sモービル汚泥吸引車	9,400kg	1台	洗浄車	450kg	1台	
	モービル汚泥吸引車	7,700kg	1台	洗浄車	2,500kg	1台	
	タンクローリー	10,040kg	1台	工作車	2,000kg	1台	
タンクローリー	11,160kg	1台	貯水車	1,000kg	1台		
7tユニック車	6,500kg	1台	トリータ固液分離車	36m <sup>3</sup> /日(4.5m <sup>3</sup> /時間)	1台		
4tユニック車	3,000kg	1台	カーネーション袋脱水車		1台		



## 受託した産業廃棄物の収集運搬処理量

平成24年度

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
収集運搬	燃え殻		2.87
	汚泥		5180.68
	廃油		954.89
	廃酸		11.79
	廃アルカリ		156.22
	廃プラスチック		388.79
	紙くず		0
	木くず		7.46
	動物性残渣		90.4
	ゴムくず		0
	金属くず		12.61
	ガラス陶磁器		89.17
	がれき類		41.58
	廃油（特管）		115.76
	廃アルカリ（特管）		1.76
	感染性		86.9
	廃石綿等		0.31
	汚泥（特管・有害）		14.21
	廃油（特管・有害）		0.8
	廃酸（特管・有害）		0.4
	廃アルカリ（特管・有害）		2.89
強酸（有害）		0.28	
	強酸		0
収集運搬量合計			7159.77
中間処理	汚泥	脱水、造粒固化	4670.38
中間処理合計			4670
再資源化	汚泥		2351.81

		単位	H22年	H23年	H24年
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	367635.6	449197.2	421945.2
	化石燃料	MJ	41795	44967.6	45817.2
	新エネルギー	MJ			
	LPG	MJ	7.848	5.47	4.68
② 総物質投入量	資源投入量	t			
	循環資源投入量	t			
② 水資源投入量	上水	m <sup>3</sup>	223	108	148
	工業用水	m <sup>3</sup>			
	地下水	m <sup>3</sup>			
【③ 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】購入電力	Kg-CO <sub>2</sub>	67400	82353	77357
	【二酸化炭素】化石燃料	Kg-CO <sub>2</sub>	12439	12491	12727
【⑤ 総排水量】	公共用水域	m <sup>3</sup>	2912.8	4791.1	4700.4